

Kansai University Alumni Association News

関大

第573号

平成25年(2013年)1月15日発行
奇数月15日発行・昭和30年8月6日第三種郵便物認可

関西大学校友会

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 関西大学校友・父母会館
電話06(6368)1121(代) FAX06(6380)8476
URL <http://www.kandai-koyukai.com/>
Eメール koyukai@ml.kandai.jp

年頭のご挨拶 — 寺内俊太郎校友会長
— 4か年の結実を次に繋ぐ —
1570人に代議員を委嘱
1月26日(土)に臨時代議員会を開催

新春特集 年男・年女 学生時代を語る
2013スプリングフェスティバル 4月7日(日)に開催
高橋大輔がGPファイナルで日本男子初の優勝
馬術部が団体と個人競技で全日本2連覇達成

新年特別号



32季ぶりにAリーグ昇格を果たしたラグビー部(関大スポーツ提供)

1977年(昭和52年)生まれ

海外での気づき糧に 自分の進む道を決定

神谷 宗幣(平19専法科)



私は福井県高浜町の出身で、関大に進学しての一番のショックは、大学にも町にも人が多すぎることでした。自

分の田舎者ぶりを知った私は、見聞を広めるため日本一周や海外留学を計画し、サークルなどを1年ですべてやめ、2年間バイトに明け暮れました。そうして貯めたお金で、大学3年の夏にバイクで日本を1周し、翌年は1年間休学しカナダへ渡りました。

カナダの学校で同世代の海外の若者と交流し、彼らの母国への想いや社会に対する考え方を聞いた私は、自分の損得しか考えていない自分を反省し、「自分を含めた日本の若者はこのままでいいのか」と危機感を持ち、学校を辞めてアメリカ、ヨーロッパ、アフリカと世界20ヶ国を周りました。

新年特集 2013 三頌 春 年男・年廿 学生時代を語る

この経験で世界の現実を知った私は、1年後大学へ戻り、友達に「我々はもつと国や社会の事を考えないといけない」と訴えましたが、最初は周囲に笑われ、最後には「海外で変な宗教に入ったのか」とまで言われ、何人かの友人を失いました。

海外での気づきは忘れてしまおうかと何度も考えましたが、自分の心は偽れないと言を固めて、人にメッセージを送れる仕事に就こうと決めて、弁護士から政治家になることを計画し、大学を卒業しました。

卒業後は、父親の会社の倒産などでかなり遠回りをしましたが、関大のロースクールを経て吹田の市議会議員になり、今は衆議院の選挙区支部長として活動をしています。

私の人生の転機は、関西大学に進学し、自由な空気の中で学ばせて頂いたことで訪れました。資格取得や就活も大変だと思いますが、学生には是非様々な活動の中から自分の人生の道しるべや天命を見つけてほしいと願っています。

(自民党選挙区支部長)